



向日葵は原産地が北アメリカ西部とされています。紀元前からインディアンの食用作物でもあったようです。平尾 隆

発行 一般社団法人 相模原市医師会

蒸し暑い日本の夏がやってきます。新型コロナは紫外線に弱い可能性があるので、日本の夏がコロナ退治の神風となることを祈りつつ、室内への日光取り入れと換気にも留意したいところです。

さて、7月号のテーマは「子宮頸がんはなぜ予防できるのでしょうか?」、「受動喫煙による健康への影響」です。お役に立てれば幸いです。

子宮頸がんはなぜ予防できるのでしょうか?

はじめに

大部分のがんは簡単には予防できません。でも、子宮頸がんは予防することができます。「なぜ子宮頸がんは予防できるのか」、それが今回のテーマです。男性諸氏や中学生・高校生のお嬢さんたち、「自分には関係ないもんね」などと言わず、ぜひ目を通してください。

子宮頸がんはどんな病気なのでしょうか?

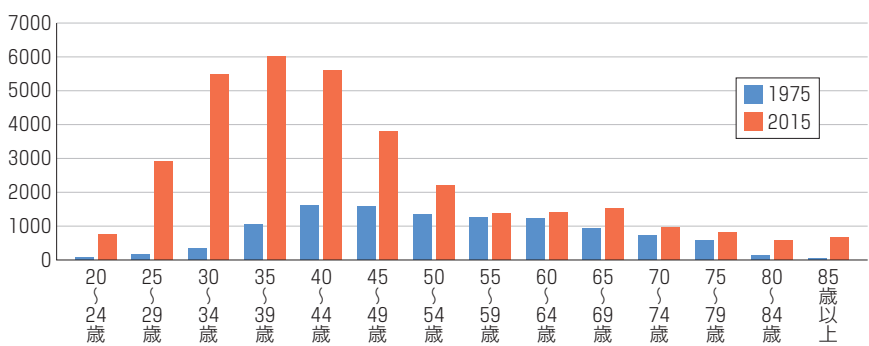
子宮頸がん(以下頸がん)の約95%は、セックスで感染する「ヒトパピローマウイルス(HPV)」が原因です。150以上の型があるHPVのうち、がんの原因になるのは15種類くらいで、日本の頸がんの65%くらいは、HPV16型、18型が原因です。

多くの女性がHPVに感染しますが、90%くらいは自然に消えてしまいます。HPVが消えないと、「異形成」という前がん状態を経過して、5年以上かけてがんになることがあります。がんになる頻度は0.1%程度です。

異形成はもちろん、早期がんも症状がありません。早期がんなら子宮を取らずに簡単に治すことができますし、もちろん赤ちゃんを授かることもできます。進行したがんでは、不正出血やきたないおりもの、腹痛などの症状がみられます。こうなってから治療は大変で、赤ちゃんも宿せなくなりますし、がんのために命を落とすことになるかもしれません。

実はHPVに感染している若い女性は非常に多く、20代なら4人に1人くらいが感染しているようです。また、頸がんは最近若い女性に増えていて、「まだ若いからがんなんて関係ない」とはいえないのです(図1)。

図1 子宮頸がん年齢階級別症例数の変化



子宮頸がんを予防するための2つの武器

頸がんを予防するために、私たちは2つの強力な武器を持っています。

1つは、異形成や早期がんを発見するための、「細胞診」というとても簡単な検査です。この検査は「子宮がん検診」で行われています。20歳になると、相模原市から頸がん検診の「検診受診券」が届きますから、是非

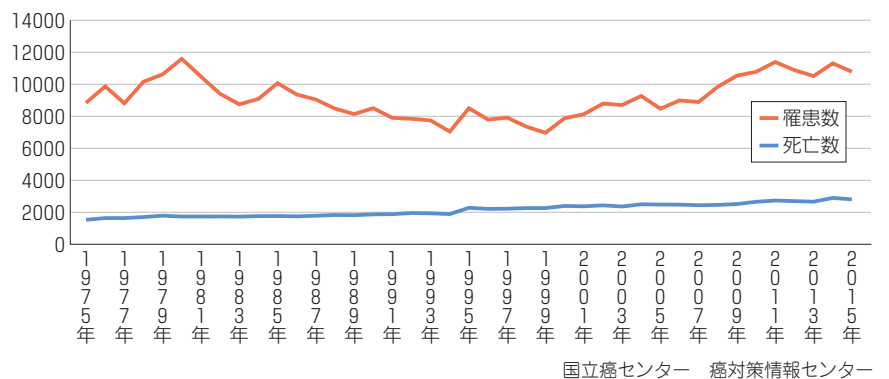
使ってください。

第2の予防手段は、HPV感染そのものを予防する「ワクチン」です。現在使われているワクチンは、16型、18型HPVの感染を予防します。小学6年生～高校1年生に相当する年齢の女子は、無料でHPVワクチンの接種を受けることができます。

日本の子宮頸がんは減っているのでしょうか?

検診もあって、ワクチンもあるのなら、頸がんの患者さんや、頸がんで亡くなる人はほとんどいないはずと思いませんか?先進国では患者さんも死亡する人も減っていますが、日本ではむしろ増えています(図2)。世界保健機関(WHO)は、検診受診率を70%、ワクチン接種率を90%にすれば、頸がんは激減すると報告しています。日本の検診受診率は42%、ワクチン接種率はほぼ0%ですから、頸がん撲滅には程遠い状態なのです。

図2 子宮頸がんの罹患数と死亡数の推移



おわりに

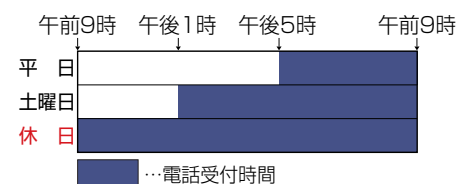
頸がんは原因もがん化の過程も分かっています。簡単な検診で発見することができ、早期に発見すれば確実に治療できます。予防するワクチンもあります。そんな頸がんで苦しむのはもったいないと思いませんか?

(相模原市医師会 上坊 敏子)

休日・夜間の急病診療制度の利用

まず、かかりつけの医師に相談してください。かかりつけの医師が不在、近所の医療機関で診療が受けられない方は

☎042-756-9000
相模原救急医療情報センターへ
お電話してください。



市民のみなさんへお願い

- ◇診療可能な医療機関を案内します。
- ◇医療相談・歯科案内は行なっておりません。
- ◇急病で困ったときに利用してください。
- ◇**応急診療**が目的ですので、翌日はかかりつけの医師または近所の医師の診察を必ず受けてください。
- ◇**健康保険証**を必ず提示してください。されない場合は自由診療扱いとなり、費用が高額になります。
- ◇救急車は、生命に危険が生じた患者さんを一刻も早く運ぶためのものです。安易な利用は避けてください。
- ◇歯科の急病については**休日急患歯科診療所** ☎042-756-1501へ(ウェルネスさがみはら2階)
- ◇服用している薬がある場合は、**お薬手帳**もしくは処方された薬をお持ちください。

